

製品名: ALR ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab06808**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	24kDa

抗原情報

遺伝子名	GFER
別名	GFER; ALR; HERV1; HPO; FAD-linked sulfhydryl oxidase ALR; Augmenter of liver regeneration; hERV1; Hepatopoietin
遺伝子 ID	2671.0
SwissProt ID	P55789
免疫原	抗血清はヒト GFER の内部領域由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 51-100

背景

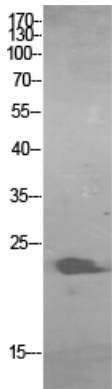
肝再生促進因子 (ALR) と呼ばれる肝栄養因子は、哺乳類の肝臓の並外れた再生能力を担う因子の一つと考えられています。また、肝

再生刺激物質 (HSS) とも呼ばれています。この遺伝子は、多発性嚢胞腎 (PKD1) 遺伝子座を含む 16 番染色体上に位置しています。推定遺伝子産物は、酵母の scERV1 タンパク質と 42% の相同性があります。酵母 scERV1 遺伝子は、酸化的リン酸化、ミトコンドリアゲノムの維持、そして細胞分裂周期に必須であることが分かっています。ヒト遺伝子は、酵母 scERV1 遺伝子の構造的・機能的相同遺伝子です。[RefSeq 提供、2008 年 7 月],触媒活性: $4 R'C(R)SH + O(2) = 2 R'C(R)S-S(R)CR' + 2 H(2)O$.,補因子:FAD.,機能:ジスルフィド結合形成を触媒する FAD 依存性スルフィドリル酸化酵素.,類似性:1 つの ERV/ALR スルフィドリル酸化酵素ドメインを含む.,サブユニット:ホモ二量体.,

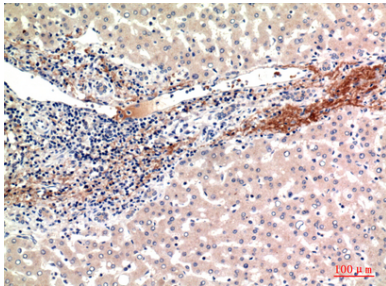
研究分野

-

画像データ



ALR ポリクローナル抗体を用いた HBE 細胞のウェスタンブロット分析。二次抗体は 1:20000 に希釈された。



パラフィン包埋ヒト肝臓の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された